

どいはず恩を思えり、身を忘るゝをこそ人とはいへ、天道もこれをぞめぐみ給らん、よしなき事
 なわびあひそとて、下人どもよびて、中の檜垣をたゞこぼちにこぼちて、それよりぞ出させける、
 さてその事世にきこえて、殿原もあざみほめ給けり、さてその、ち九十ばかりまでたもちてぞ
 死ける、それが子どもにいたるまでみないのちながくて、下野氏の子孫は舍人の中にもおほく
 あるとぞ、

〔吾妻鏡〕^三、壽永三年^{元曆}四月六日甲戌、池前大納言^{頼盛}並室家之領等者、載平氏沒官領注文、自
 公家被下云云、而爲酬故池禪尼恩德、申有彼亞相勅勘給之上、以件家領三十四箇所、如元可爲彼家
 管領之旨、昨日有其沙汰、令辭之給、此内於信濃國諏方社者、被相博伊賀國六箇山云云、

池大納言沙汰

走井庄^{河内}

長田庄^{伊賀}

野俣道庄^{伊勢}

木造庄^同

石田庄^{播磨}

建田庄^同

由良庄^{淡路}

弓削庄^{美作}

佐伯庄^{備前}

山口庄^{但馬}

矢野領^{伊豫}

小島庄^{阿波}

大岡庄^{駿河}

香椎社^{筑前}

安富領^同

三原庄^{筑後}

球磨白間野庄^{肥後}

右庄園拾七箇所、載沒官注文、自於院所給預也、然而如元爲彼家沙汰、爲有知行勤狀如件、

壽永三年四月五日

池大納言沙汰

布施庄^{播磨}

石作庄^同

六人部庄^{丹波}

兵庫三箇庄^{攝津}

熊坂庄^{加賀}

眞清田庄^尾

張服織庄^{駿河}

宗像社^{筑前}

三箇庄^同

國富庄^{日向}

已上八條院御領

麻布大和田領^{河内}

諏訪社^{信濃}被相博伊賀六箇山了

已上女房御領